

膠原病

友の会だより

第3号

昭和47年2月

東京都文京区板橋

2-14-19-301

膠原病の会

事務局

難病団体連絡協議会設立する

今まで保健同人社内に取りまわった難病友の
 会連絡会が、難病団体連絡協議会（難病連）
 とし、四十七年一月七日を以て設立されました。
 個々の団体は、病名、そちがうが、現代の医療
 のひびみの中にあると言う大きな共通点をも
 っています。従って個々の団体が結集して、
 問題の解決にあたろうといふことになりました。
 （例えば、医療費の公費負担、身障者手帳の
 交付等）なお、難病連は、全国的な組織
 をもつ事を目標にしております。

設立大会は、三月中に都知事を囲んでおこ
 ねられます。この際、各友の会の実態を訴え
 要望書を渡し、これを厚生省に働きかける

きっかけにする事になりました。

この団体には、膠原病・スモン病・ベーセツト病
 筋無力症の他七団体が加入しており、どの病気も
 みは難病中の難病です。決して私達が、唯一の
 難病ではないのです。他の病気で多くの人々
 が、その苦しみには堪えて居ます。私達と、病
 名、症状、そちがいますが、同じ闘病に耐え
 ている仲間が多勢いるという事で、決して、
 自分一人が……と悲観的にならず、共に心
 を揃いて語り合い勇気を出して参りませ
 よう。

遺族からの激励のため

お便り有難う御座居ました。又、
 友の会だよりも有難く拝見させて載
 きました。一隅から湧き出た泉が、
 段々とその輪を拡げて行くように、友の

会の活躍によつて、世間の人が膠原病に
対する認識を深め、あるいはその病気に
かかっている人々に希望を与えて呉れ
る様に願つています。

御心配をおかけしました。私共父子
は、挫けて元氣ですからどうか御安心下
さい。筆不精なため、つい来い間御無
沙汰致し大変失礼しました。

二月一日より本社勤務になり川崎の
アパートから東京迄通勤して居ります。
子供は妻の実家に預け、週末に子供に
会いに行つていますが最近はやつと片言
をしゃべるようになり楽しんでます。

膠原病の原因は良く判らないようですが
先生の話や本を読んだ感じでは、家内の場
合には生活環境の急変、出産、過度の
日光浴が原因でははいかと思つています。

慢性病らしいので、自然食品等の食
事療法により体質改善をして病気を
治そうと考えていました。たかその暇はあ
りませんでした。

この病気が治った人も世間にはいる
訳ですからお互いに注意や激励をし合
えば効果がありますね。その為にも、
友の会の活動は、一層拡げて行く必要が
あろうかと存じます。

呉々も御自愛の上、今後の御活躍を
お祈り致します。

二月二十四日

沢田 行夫

(沢田様は、昨年末、友の会の為に、多額
の御寄附をお送り下さいました。
膠原病手帳もその御厚意により発行
する運びとなりましたことを、お知ら
せいたします。)

事務局 佐藤)